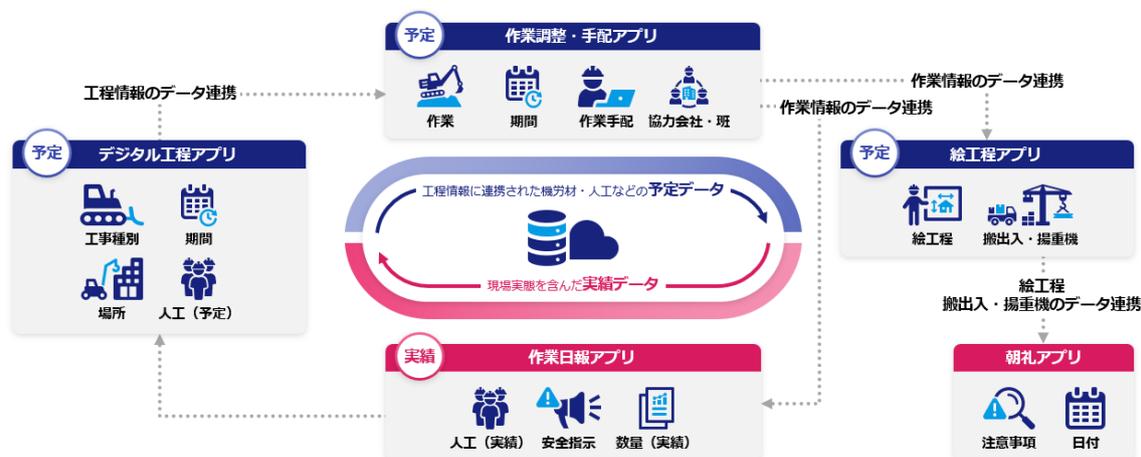


別紙

「施工管理業務のDX」実現イメージ



- ① 工程表の情報に、工程の様々な属性情報（工種、施工量、人員等）を付与します。
- ② 工程表の情報を元に、作業レベルに分解し、作業に必要な粒度の情報（協力会社、作業場所等）を加え、作業間調整を行います。
- ③ 調整された作業に関連する平面的位置情報や配置情報を加えて情報を視覚化し、手配を行います。
- ④ 平面的に視覚化された情報を元に朝礼コンテンツを作成します。
- ⑤ 作業日報から実績データを取得し予定と実績の比較管理を行います。